

## 兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	FAB 類似性課題の誤反応分析 -脳疾患・神経疾患での検討- [倫理審査受付番号：第 4212 号]
研究責任者氏名	道免和久
研究機関長名	兵庫医科大学長 野口 光一
研究期間	2022 年 10 月 18 日～2025 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：脳疾患 神経疾患 / 診療科名等：脳神経外科 脳神経内科
	西暦 2022 年 5 月 1 日～2022 年 5 月 31 日に入院していた方
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 アンケート その他 ( )
	取得の方法： <input checked="" type="checkbox"/> 診療の過程で取得 その他 ( )
研究目的・意義	Frontal Assessment Battery (FAB) は、前頭葉機能を評価するために開発された簡易な認知機能検査です。本検査は、類似性、語の流暢性、運動系列、葛藤指示、Go/No-Go、把握行動の 6 課題から構成されますが、その内、類似性課題は、概念操作能力といって、提示した単語対の上位概念（例：みかん、バナナ 果物）を正しく答えられるかどうかを評価する課題です。しかし、実際の臨床現場では、求めている解答が得られないことが多くみられ、認知症患者を対象とした先行研究においては、概念操作能力を評価する課題として十分に機能していない可能性があることが指摘されています。そこで本研究では、臨床で FAB を実施する頻度が高い脳疾患および神経疾患の患者さんを対象に、類似性課題において特徴的な誤りや傾向がみられるかを調査することを目的とします。本研究の対象者においても、求めている解答が得られない患者さんが多かった場合には、類似性課題が概念操作能力を適切に評価できていない可能性があるため、よりよい手続きや評価法を検討するという今後の課題が明らかになり有意義と考えます。

研究の方法	<p><b>【対象】</b> 2022年5月1日から5月31日に入院していた方で、言語聴覚療法または作業療法が処方されFABを実施した25名の脳疾患および神経疾患の入院患者さんを対象とします。この内、類似性課題の誤反応記載がなかった1名を除外します。</p> <p><b>【方法】</b> 全対象者24名（男性：13名、女性：11名）の平均年齢、性別、全般的認知機能検査（ミニメンタルステート検査日本語版または改訂長谷川式簡易知能スケール）の平均得点、FABの平均得点、類似性課題3項目のそれぞれ正答率を算出するとともに誤反応について分析します。</p>
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、利用させていただきます。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	診療科名等：リハビリテーション技術部 担当者氏名：堀川 康平 [電話]（平日9時～16時00分） 言語療法室：0798-45-6343、リハビリテーション科医局：0798-45-6881